

生涯學習獎勵員活動支援

様式 1

【事業一覧】

No	1	中央公民館	事業名	生涯学習奨励員活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	生涯学習奨励員研修	講義	7月25日(金)	戦後80年～前橋空襲をアップデートする～(※)	実10497496 報10578269	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	1	中央公民館			経費	¥9,000		
事業名	生涯学習奨励員活動支援				講座区分	生涯学習奨励員事業		
講座名	「戦後80年～前橋空襲をアップデートする～」							
ねらい	① 地域における生涯学習推進の中心的な担い手として活躍する、生涯学習奨励員の資質向上を図るとともに、地域と生涯学習奨励員との連携及び協力を深め、学習成果の地域への還元を目指す							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	7月25日(金)		戦後80年の節目の年であったため、戦争体験者の原田さんのお話と、田名網さんによる前橋空襲を日米両資料と体験者の証言から紐解いたお話の二部構成とした。			9,000円	— 原田 恒弘 田名網 雅久	
	13:30	15:00						
	なし	33						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	戦後80年と前橋空襲についての内容がしたいと理事会で意見がまとまった
地域のニーズにこたえているか	○	事前の理事会にて内容を決定した
企画・事前準備は十分であったか	○	講師の方と連携をとり、円滑に進めることができた
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケートでは満足の声が多かった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	得た知識を地域に伝承することで、還元できた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	開催通知で奨励員と自治会長に通知

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	戦後80年の節目の年として関心が高まっている時期に、戦争体験者である原田さんから貴重な当時のお話を聴けたことは、大変有意義な時間となった。参加者からは、「二度とふるさとを戦禍の悲しい状況にしてはいけない」といった声が寄せられ、講話を通して、前橋の歴史や地域が抱えてきた苦難についての理解を深め、自分たちが住むまちをどのように守り、次世代に繋げていくかを考える良い機会となった。	
改善点	平日の午後の開催であったため、仕事等の都合により参加出来ない方が多く、参加者数に伸び悩んだ。そのため、土日開催や夕方以降の実施等を検討する。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	地域と生涯学習奨励員との連携及び協力を深め、学習成果を地域へ還元していく体制を強化していきたい。また奨励員同士が意見や情報を共有できる場を設けることで、活動の質の向上にも繋がると思うので、継続して開催していきたい。	

留意事項等	
-------	--

	
講演の様子	講演の様子

様式 1

【事業一覧】

No	2	上川淵公民館	事業名	生涯学習奨励員活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	生涯学習奨励員 研修	講義	7月11日(金)	介護保険のはなし	実10523219 報10566898	
2	生涯学習奨励員 研修	講義	10月10日(金)	自然災害から身を守る (※)	実10539263 報10643125	
3	生涯学習奨励員 研修	研修	3月13日(金)	奨励員活動を進めるために (意見交換会)	実10723176 報10779695	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	2	上川淵公民館			経費	—	
事業名	生涯学習奨励員活動支援			講座区分	生涯学習奨励員活動支援		
講座名	自然災害から身を守る						
ねらい	① 生涯学習奨励員自らの見聞を広める ② 地域の中で活躍できる人材を育成する ③ 災害時に身を守る術を学ぶ機会とする						
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者
周知	☐ 館報	☐ HP	☒ チラシ	☒ その他 (通知文郵送)			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了	講師名				
	定員	参加者					
1	10月10日(金)		「自然災害から身を守る」 地域の安全を地域住民で守るため、どのような災害があるか、どのような備えが必要かを奨励員として学ぶ			—	—
	19:00	20:00	防災危機管理課				
	30	26					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	災害を自分事としてとらえる機会とすることができた
地域のニーズにこたえているか	◎	自然災害時の地域連携は喫緊の課題であることから、本講座はニーズに応えられていると考える
企画・事前準備は十分であったか	◎	奨励員役員会で話し合いを行い企画したが、綿密な調整を行ったことで、問題なく実施できた
学習者の満足度はどうであったか	○	概ね満足いただけたと考える
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	災害リスクを学び地域に還元できる人材を育成できた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	奨励員活動を理解いただくために自治会長にも声掛けを行ったが、多くの方にご参加いただけた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 48

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	生涯学習奨励員を対象に、自然災害から身を守るための基礎知識と地域での備えについて学ぶ講座を「まえばし出前講座」を活用して実施した。本講座では、災害リスクや具体的な行動指針を専門的視点から分かりやすく学ぶことができ、参加者の防災意識の向上に寄与した。奨励員が地域の学習支援者として住民に情報を伝える際の基礎となる内容であり、地域防災力の強化に資する有意義な事業であったと評価できる。	
改善点	本講座は防災意識の向上に有効であった一方、講義形式が中心で参加者同士の意見交換が十分に行えなかった点が課題として挙げられる。また、学んだ内容を実践につなげるための工夫が求められるが、講座後のフォローアップが不足しており、継続的な学習支援体制の充実が今後の課題である。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	生涯学習奨励員が地域活動を推進するうえで必要となる知識や視点を、社会状況や地域課題に応じて柔軟に学べる機会を提供している点に意義がある。専門的知識の習得や地域課題への理解促進といった基盤的な学習効果は継続して得られており、奨励員の資質向上に寄与している。これらの点から、本事業を継続する必要性は高いと考える。	

留意事項等	
-------	--

	
講話の様子	参加者の様子

様式 1

【事業一覧】

No	3	下川淵公民館	事業名	生涯学習奨励員活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	生涯学習奨励員研修	講義	2月10日(火)	下川淵カルタのあゆみ(※)	実10717824 報10756339	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	3	下川淵公民館			経費	¥9,000		
事業名	生涯学習奨励員活動支援				講座区分	生涯学習奨励員研修		
講座名	下川淵カルタのあゆみ							
ねらい	① 下川淵地区の伝統、史跡等をまとめた下川淵カルタについて理解を深める ② 生涯学習及び地域づくりの事例を学び、地域の生涯学習の活性化を図る							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☒ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	2月10日(火)		下川淵カルタ作成に携わった下川淵生涯学習奨励員連絡協議会元会長から、作成時や普及活動、派生事業の成り立ちやあゆみを教授いただく。			9,000円	—	
	19:00	20:30				根岸 輝治		
	28	24						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	下川淵地区の文化や歴史を伝えていくことにつながる
地域のニーズにこたえているか	○	下川淵地区の文化や歴史を伝えていくことにつながる
企画・事前準備は十分であったか	◎	講師やベテラン奨励員と綿密な打ち合わせを行って臨んだ
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケート結果から、おおむね良好であった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	奨励員や自治会長が各町で行う取り組みに役立つ内容であった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	28名の対象のうち、24名と高い参加率であった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める		平均点	43
---	--	-----	----

事業の総合評価		B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	講義はカルタ20年分の活動がテーマになったため、全体として駆け足での説明となりました。それでも、当時の貴重な写真や映像とともに、カルタの知られざる歴史を紐解いた内容で、アンケート結果をみても参加者の多くにとって、有意義であり、また地域に還元できるものとなったと思われる。開催時期について、参加者は1年間、下川淵カルタ関連の行事を一通り経験した上での研修となり、無垢な状態での受講よりも深い理解となったと思われる。		
改善点	講義時間について、事前に講師と内容について打ち合わせを行い、もともとあった膨大な量の資料や発表スライドを取捨選択して本番に臨んだが、予定よりも導入部分が長くなって1時間を超えたことで少し長いとアンケートに回答する参加者もいた。次回の反省点である。		

次年度の事業継続の評価		維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	各町で活動される生涯学習奨励員にとって、地域内外の取り組み、文化、歴史を知ることは常に必要なため、今後も引き続き参加者のニーズにあった講座を開催したい。		

留意事項等	
-------	--

写真①	写真②
写真なし	

様式 1

【事業一覧】

No	4	芳賀公民館	事業名	生涯学習奨励員活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	生涯学習奨励員研修	研修	2月16日(月)	芳賀地区生涯学習奨励員・自治会長合同研修会 (※)	実10692337 報10747230	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	4	芳賀公民館			経費	—	
事業名	生涯学習奨励員活動支援				講座区分	生涯学習奨励員研修	
講座名	芳賀地区生涯学習奨励員・自治会長合同研修会						
ねらい	① 地域における生涯学習活動のリーダーである生涯学習奨励員の資質の向上を図る ② 自治会長と生涯学習奨励員が合同で研修を実施することにより相互の連携を深める ③ 学習したことを地域や家庭で実践し課題を解決する						
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☒ 高齢者
周知	☐ 館報	☐ H P	☒ チラシ	☒ その他（定例会議での案内周知）			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	2月16日(月)		生涯学習奨励員の資質の向上と自治会長との連携を深めることを目的として「前橋空襲と復興資料館」において研修を実施した。			—	—
	10:00	11:00				市文化国際課に資料館での解説を依頼	
	20	19					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	自治会長との交流が図れた
地域のニーズにこたえているか	◎	前橋の歴史を学習することができた
企画・事前準備は十分であったか	○	研修先(文化国際化・文化会館)と連絡を密にとりスケジュールを決めた
学習者の満足度はどうであったか	○	初めて訪れた場所で深い興味を示していた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	今回学んだことを地域で活かしていただきたい
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	定例会議等で周知に努めた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	生涯学習奨励員の資質の向上と自治会長との連携を深めることを目的として研修を実施した。昌賢学園まえばしホール2Fに4月に開館した資料館を、戦後80周年という機会を訪れ、前橋の歴史を学習した。みなさん初めて訪れたということで、郷土の戦後の復興に関して深い興味を示していた。	
改善点	今回は現地集合、現地解散としたが、学習の振り返りの機会があるとよいと思う。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	地域づくりや生涯学習の推進において、生涯学習奨励員と自治会長と一緒に学習する機会が大切なことだと思うので、今後も継続すべきである。	

留意事項等	
-------	--

	
資料の解説を聞きながら資料館を見学	ロビーにて参加者全員で記念写真

様式 1

【事業一覧】

No	5	桂萱公民館	事業名	生涯学習奨励員活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	生涯学習奨励員研修	講義	1月27日(火)	生涯学習奨励員・自治会長合同ChatGPT基礎講座（※）	実10662346 報10720496	
2	生涯学習奨励員研修	実習	11月 1日(土)	かいがやふれ愛コンサート	—	
3	生涯学習奨励員研修	展示	4月～5月	ふるさと探検ウォーキングコース	—	

様式 2－1

【事業の概要】

No	5	桂萱公民館			経費	¥6,000		
事業名	生涯学習奨励員活動支援				講座区分	生涯学習奨励員研修		
講座名	生涯学習奨励員・自治会長合同ChatGPT基礎講座							
ねらい	① 「ChatGPT」等の生成AIについて基礎から学び理解を深める ② 「ChatGPT」等の生成AIを学び日頃の生涯学習活動等に活かす ③ 生涯学習奨励員と自治会長の交流を図る							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☒ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☒ その他（通知文）				
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	1月27日(火)		日々進化している「ChatGPT」などの生成AIについて基礎から学ぶ				6,000円	—
	10:00	12:00					システムエンジニア 中西 久人	
	39	20						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	全ての人に生成A I の理解が必要
地域のニーズにこたえているか	△	参加者が5割程度だった
企画・事前準備は十分であったか	○	講師や会長と内容についてよく話し合った
学習者の満足度はどうであったか	○	満足度は比較的高かった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	基礎講座で地域還元等を目的としていない
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	個々に案内を通知した

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める	平均点	38
---	-----	----

事業の総合評価	C	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	学び合い・人権・地域ふれあい事業では好評だった「生成A I」をテーマに選定したが、参加者は5割程度だった。生涯学習奨励員は現役世代を中心に欠席が目立った。	
改善点	講座の開催日を休日や夜間に変更するなど、現役世代が参加できる日程を考える。	

次年度の事業継続の評価	廃止	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	出席率が高くなる別のテーマを選定した方が良いため	

留意事項等	
-------	--

	
講師の中西先生	講座全体の様子

【事業一覧】

No	6	東公民館	事業名	生涯学習奨励員活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	生涯学習奨励員研修	研修	11月21日(金)	東地区生涯学習奨励員等野外研修会	実10650298 報10680296	
2	生涯学習奨励員研修	講義	3月 9日(月)	東地区生涯学習奨励員研修会 「幕府の運命・日本の運命ー小栗上野介の日本改造ー」(※)	実10701216 報10775416	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	6	東公民館			経費	—		
事業名	生涯学習奨励員活動支援				講座区分	生涯学習奨励員研修		
講座名	東地区生涯学習奨励員研修会 「幕府の運命・日本の運命ー小栗上野介の日本改造ー」							
ねらい	① 生涯学習奨励員等が、地域や町内などで生涯学習を推進していくための基本的な知識や学習情報を知る機会とする ② 地域における学習課題を考え合い生涯学習推進を図るための一助とする							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☒ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ H P	☒ チラシ	☒ その他 （開催通知）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	3月9日(月)		小栗上野介忠順は、文政10年（1827年）、神田駿河台（現在の東京都千代田区）で旗本の家の長男として生まれました。若い頃から才覚を表した小栗は34歳で日本初の遣米使節の目付としてポウハタン号に乗り込み渡米。帰国後は、外国・勘定・江戸町奉行などの要職を歴任し、横須賀造船所建設提言や関税率改定交渉など、日本の近代化に大きく貢献し「明治の父」ともいわれています。無実の罪を着せられ、隠せし先の倉渚町で非業の死を遂げた小栗の実像や功績について詳しくお話します。			—	—	
	10:00	12:00				東善寺 住職 村上 泰賢		
	70	98						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	時事的に最新の内容の講座開催のため
地域のニーズにこたえているか	○	奨励員の要望により内容を決定。令和8年大河ドラマに沿った内容のため、地域住民の関心も高いものと思われる
企画・事前準備は十分であったか	○	企画、講師との調整、内容の確認等、余裕をもって準備をすることができた
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケートによる満足度も概ね好評だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	講座の内容的には、直接地域への還元は見込みないが、町内などで生涯学習を推進していくための基本的な知識や学習情報を知る機会とはなったかと思う
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	館報やチラシによる周知により、募集定員に達することはできた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める	平均点	37
---	-----	----

事業の総合評価	C	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	今回は、「幕府の運命・日本の運命－小栗上野介の日本改造－」と題し講演会を行った。講師の村上氏による、長年の研究に裏打ちされた熱意溢れる説明は、大変わかりやすく、参加者も真剣に話を聞いていた。教科書では語られない小栗上野介という人物の魅力や彼の悲劇を知ること、より歴史への理解が深まったのではないかと思う。歴史・文化といった分野については、比較的興味のある方が多いため、今後も引き続き同様な講座を開催していきたいと感じた。	
改善点	定員を上回る多くの参加をいただいたこともあり、講演内容に対する関心も高く、質問時間も含め時間が足りなかったため、あらかじめ講義の時間、質問時間についてももう少し打合せしておくべきだったと思う。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	奨励員が地域に生涯学習を広めるための学習機会を提供するため、また地域住民の生涯学習への関心を高める機会を提供するため、本事業を継続したい。	

留意事項等	
-------	--

	
講演会	講演会

様式 1

【事業一覧】

No	7	元総社公民館	事業名	生涯学習奨励員活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	生涯学習奨励員研修	研修	10月14日(火)	元総社地区生涯学習奨励員視察研修(※) 『足利氏ゆかりの街で史跡・御利益めぐり』 ～足利編～	実10628405 報10646906	
2	生涯学習奨励員研修	講義	1月15日(木)	それいけ！まえばし出前講座 『生涯学習活動がつくる地域の輪』	実 — 報10720978	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	7	元総社公民館			経費	—		
事業名	生涯学習奨励員活動支援				講座区分	生涯学習奨励員研修		
講座名	視察研修『足利氏ゆかりの街で史跡・御利益めぐり』							
ねらい	① 視察研修を通じて生涯学習奨励員の資質向上を図り、研修の成果を地域に還元する。 ② 生涯学習奨励員の交流を深め、地域の生涯学習の活性化を目指す。							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ H P	☐ チラシ	☒ その他 （ 会議資料内及び開催通知、しおり ）				
回	月 日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	10月14日(火)		足利氏ゆかりの史跡等をめぐり、歴史や文化を学ぶ。 1 足利織姫神社 2 足利まち歩きミュージアム 3 足利まちなか遊学館 4 鏝阿寺 5 史跡足利学校			—	3,000円	
	8:15	14:45				足利市観光案内人 亀田 治夫		
	12	10						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	委嘱嘱初年度ということで、奨励員同士学びながら交流を深められた
地域のニーズにこたえているか	○	近隣の史跡巡りを知ることにより、地域の史跡等に関心を持つ良いきっかけとなった
企画・事前準備は十分であったか	○	担当の役割は大きかったが、6月には視察先、7月には行程等が決定しスムーズであった
学習者の満足度はどうであったか	○	案内人の説明を聞き、再発見ができたという声が多かった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	直接的な還元・波及は見受けられないが、活動のヒントを得たと思うので期待したい
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	会議の中で協議・決定し、開催直前には開催通知及びしおりを送付して周知した

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	今年度は、生涯学習奨励員の委嘱初年度ということで、各奨励員同士学びながら交流を深め、人となりが分かって大変有意義な研修になったと思う。鏝阿寺では、多宝塔の説明の中で、本県の水沢寺の六角二重等と屋根の作りが似ていると説明があったり、また、教科書で見て習った足利学校が目の前にあることで興味が湧いた奨励員も多かったと思われる。今回の研修を活かし、地域住民のさまざまな学習活動の機会を設けたり、町の広報紙を作成し情報提供を行ったりと「学びのボランティア」として活躍を期待したい。	
改善点	視察・座学研修の実施や地区行事への参加の際には、役員が主体となって準備・運営を行い、担当はその支援を行うといったように少しずつ改善していきたい。 なお、生涯学習奨励員活動は、自治会の協力無しでは活動できないため、以前のように、自治会長等を含めた研修も検討したい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	奨励員の活動を行う上で、どのような活動を行ったらよいのかといった情報提供は必要であり、その成果を地域に還元して、地域の生涯学習の更なる活性化を図りために必要と考えるため。	

留意事項等	
-------	--



案内人の説明を受ける奨励員（鏝阿寺）



案内人説明後の記念写真（史跡足利学校）

様式 1

【事業一覧】

No	8	総社公民館	事業名	生涯学習奨励員活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	生涯学習奨励員研修	研修	2月19日(木)	広報紙づくり (※)	実10703176 報10752184	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	8	総社公民館			経費	—	
事業名	生涯学習奨励員活動支援				講座区分	生涯学習奨励員研修	
講座名	広報紙づくり						
ねらい	① 生涯学習奨励員としての資質の向上を図る ② 地域の生涯学習奨励員活動の活性化に役立てる						
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者
周知	☐ 館報	☐ H P	☐ チラシ	■ その他（総社地区奨励員・自治会長）			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	2月19日(木)		それいけ！まえばし出前講座２０２５ 「広報紙づくり」の受講。			—	—
	13:30	15:00				広報ブランド戦略課	
	24	8					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	奨励員の主な活動である広報紙作成。奨励員からの要望
地域のニーズにこたえているか	◎	奨励員の主な活動である広報紙作成。奨励員からの要望
企画・事前準備は十分であったか	◎	研修の前に作成に関するアンケートを実施
学習者の満足度はどうであったか	◎	参加者のアンケート結果。満足度 95%
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	意見交換の場にもなり、満足度も高かった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	当日の参加者が想定より少なく周知不足を感じた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

45

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	・市担当課より、広報紙作成の基本や工夫について、事例や写真を用いた分かりやすい説明があり、参加者からは「理解しやすかった」「今後の広報紙づくりに役立つ」といった好意的な声が多く寄せられた。研修後アンケートでは満足度 95%と高い評価を得られ、全体として有意義な研修であったとの感想が多かった。	
改善点	作業ツールの操作や、より具体的な事例紹介を求める声があり、次回は参加者のニーズに応じた内容の充実が必要である。 参加者数が想定より少なかったため、今後は周知方法や開催時期の検討など、参加しやすい環境づくりが課題となる。	

次年度の事業継続の評価	見直し改善	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	研修内容に対する改善要望があり、今後の質向上の余地が大きいため「作業ツールの操作方法」「より具体的な事例紹介」等、参加者から具体的な要望が寄せられており、内容を深めることで、より効果的な事業へ発展できる。継続して改善を図ることで、より実践的な研修となる。	

留意事項等	
-------	--

		写真②
研修の様子		説明

様式 1

【事業一覧】

No	9	南橘公民館	事業名	生涯学習奨励員活動支援		
	講座区分		学習方法	実施日	講座名	管理番号
1	生涯学習奨励員研修		実習	2月16日(月) 2月20日(金)	Word・PowerPoint研修会 (※)	実10713917 報10713359

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	9	南橘公民館			経費	¥24,000		
事業名	生涯学習奨励員活動支援				講座区分	生涯学習奨励員研修		
講座名	生涯学習奨励員活動支援事業「Word・PowerPoint研修会」							
ねらい	① 地区内の生涯学習奨励員を対象としたWord及びPowerPointの学習を行い、地域の広報紙作成・スライド資料作成に役立て、地域課題解決の推進を図る							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☒ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	2月16日(月)		Word研修会 (1) 文字・画像・図形等の入力の基礎と応用 (2) 町広報紙への活用等 (3) 質疑応答			12,000円	—	
	10:00	12:00				須永 充代 大島 加代子		
	14	10						
2	2月20日(金)		PowerPoint研修会 (1) 文字・写真等の入力 (2) スライドの作成・編集 (3) 質疑応答			12,000円	—	
	13:30	15:30				須永 充代 大島 加代子		
	14	8						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	広報紙づくりやプレゼンに役立てられる
地域のニーズにこたえているか	◎	参加者からWord、PowerPoint研修の希望があり企画して実施した
企画・事前準備は十分であったか	○	事前に奨励員から質問を聞いたり、講師と調整を行ったりと希望に沿った内容に努めた
学習者の満足度はどうであったか	◎	大変満足の意見が多かった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	今後の奨励員活動に活用できる
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	生涯学習奨励員のために周知を行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	昨年同様（ExcelをWordに変更）の講座であるが参加者からの希望であり、広報紙作成やプレゼンに役立つ研修として行った。	
改善点	新規と継続の奨励員でWord・PowerPointに習熟度の差があるため基礎・応用をうまく取り入れた。	

次年度の事業継続の評価	拡充	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	任期3年（新規の奨励員）の間に広報紙づくりや実践研究会等の発表の場で活用できるような内容で実施したい。	

留意事項等	
-------	--

	
PowerPoint講座	Word講座

様式 1

【事業一覧】

No	10	清里公民館	事業名	生涯学習奨励員活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	生涯学習奨励員研修	講義	1月17日(土)	新春講演会 (※)	実10672948 報10721740	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	10	清里公民館			経費	—		
事業名	生涯学習奨励員活動支援				講座区分	生涯学習奨励員研修		
講座名	新春講演会							
ねらい	① 地域における生涯学習の推進役である生涯学習奨励員や自治会長等を対象に研修会を開催し、生涯学習活動に必要な知識、教養を習得する ② 地区役員相互間の連帯を深め、住みよいまちづくり、地域づくりに役立てる							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☒ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ H P	☒ チラシ	☒ その他（自治会長、民生児童委員協議会ほか）				
回	月日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	1月17日(土)		防犯講座～身近な防犯知識～ 振り込め詐欺や窃盗犯の発生状況と手口、不審者などの現状を学び、自分に合わせた被害防止対策を考える。					
	14:00	15:35						
	50	22						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	令和7年11月に自治会主催の防災訓練を行っており、関連した防犯講座を行い、更に地域の安全を図った
地域のニーズにこたえているか	○	医療系の講座が続いていたため、目先を変え新たな講座内容を選択した
企画・事前準備は十分であったか	○	生涯学習奨励員に提案し、次回定例会で「まえばし出前講座2025」から選んだ
学習者の満足度はどうであったか	○	集中して受講できていた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	講座後の感想を口頭で聞いたが「やはり他人事でないので、地域で気をつけたい」との意見が多かった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	公民館報及び毎戸回覧で周知

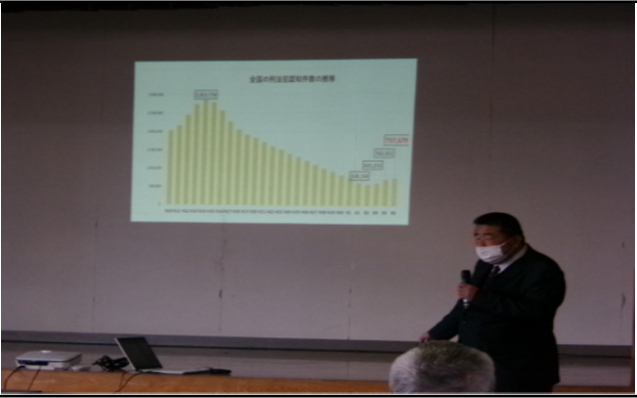
※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価
◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点 40

事業の総合評価		※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	講座終了後の意見で、「地域全体で安全を高めていくには、大人が機会を捉えて学びを深める」「地域の人でない見知らぬ人に、家に車がないから不在だと思ったと声をかけられ、びっくりした」などを頂いた。他人事ではなく、警戒する必要があるようだ。	
改善点	当日の天気により受講人数に影響があるため、広く地域の人に来館してもらいたいという方針ならば、再び地域のお医者さんに講演いただくのも一つの方法だと思う。	

次年度の事業継続の評価		※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	地区役員に横断的に興味深い講座を企画し、連携を図りながら、まちづくり、地域づくりをしていく必要がある。	

留意事項等	
-------	--

	
講師が統計データにより現状を説明	講義に聞き入る参加者

【事業一覧】

No	11	永明公民館	事業名	生涯学習奨励員活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	生涯学習奨励員研修	研修	7月11日(金)	『解明！古代群馬の中心「推定上野国府跡」』(※)	実10490136 報10568617	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	11	永明公民館	経費	—					
事業名	生涯学習奨励員活動支援		講座区分	生涯学習学奨励員研修					
講座名	『解明！古代群馬の中心「推定上野国府跡」』								
ねらい	① 生涯学習奨励員活動推進のための研修を開催し、社会活動に関する見識を深めることで、奨励員活動の広がりや社会教育への意識醸成を図る ② 自治会長との合同研修とすることで、自治会長・奨励員の交流と今後の活動の充実を促進する								
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者		
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☒ その他 (対象者へ開催通知送付)					
回	月日		学習主題・内容		講師謝礼金額	実費負担金額			
	開始	終了			講師名				
	定員	参加者							
1	7月11日(金)		現在発掘が進んでいる総社地区における上野国府跡について進捗状況や研究結果を通じ前橋市の古代史を学ぶ						
	10:00	11:30			前橋市教育委員会 文化財保護課 埋蔵文化財係 浅野主事				
	28	24							

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	地区自治会連合会との合同研修により密接な地域連携に寄与した
地域のニーズにこたえているか	○	前橋市内の古代史を学ぶことは地域を知る意味で意義があると思われる
企画・事前準備は十分であったか	○	事前に講師と生涯学習奨励員と学習内容の打ち合わせを行い。希望通りの内容で研修が行えた
学習者の満足度はどうであったか	○	研修後アンケートより広報誌作成役に立つと概ね好評であった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	今後の広報誌のコラムに活用してもらうことで地域住民に研修成果の還元を期待できる
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	今年度の事業計画通りに実施

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める	平均点	40
---	-----	----

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	自治会長・生涯学習奨励員の合同研修として、「解明！古代群馬の中心『推定上野国府跡』」を開催した。地域史への理解を深め、町だより等の記事作成の参考とすることを目的に実施したものである。前橋市の出前講座を利用したため 無料で受講でき、専門的で非常にわかりやすい内容であった。参加者からの評価も高く、今後の地域活動に有益な研修となった。	
改善点	生涯学習奨励員には現役で勤務している人も多く、平日の研修参加が難しい参加者がいた。今後は、土日開催の検討やオンライン併用など、参加しやすい日程・方法を工夫する必要がある。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	自治会長との合同研修は、連携や交流の促進に有意義であり、今後も継続すべきと考える。一方で、生涯学習奨励員については「役割が分かりにくく活動しづらい」という声があり、奨励員の役割理解を深める講座の実施や、活躍の場を広げる工夫が必要である。	

その留意事項等	
---------	--

	
研修資料	研修の様子

【事業一覧】

No	12	城南公民館	事業名	生涯学習奨励員活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	生涯学習奨励員研修	研修	11月27日(木)	城南地区自治会連合会・城南地区生涯学習奨励員連絡協議会合同研修会 (※)	実10610128 報10690144	
2	生涯学習奨励員研修	講義	2月22日(日)	「雅楽の音色 ～三管の魅力～」演奏会	実10707660 報10757011	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	12	城南公民館			経費	2,000円		
事業名	生涯学習奨励員活動支援				講座区分	生涯学習奨励員研修		
講座名	城南地区自治会連合会・城南地区生涯学習奨励員連絡協議会合同研修会							
ねらい	① 生涯学習奨励員・自治会長相互の交流を図り、連携を深める ② 各町の活動について情報交換を行う ③ 防災意識の向上を図るとともに、学習した内容を各町に還元する							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☒ その他 (開催通知)				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	11月27日(木)		埼玉県春日部市の「首都圏外角放水路」を訪問し、河川氾濫等洪水対策の機能・効果を学ぶ。			—	2,000円	
	9:20	18:10				—		
	30	25						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	ともに学ぶ機会を作ることにより、互いの活動を知り交流の場となった
地域のニーズにこたえているか	○	河川が多い地区の特徴を踏まえており、関心が高い様子であった
企画・事前準備は十分であったか	◎	奨励員連絡協議会会長自ら企画、関係者との連絡調整、資料作成等を行った
学習者の満足度はどうであったか	○	大変満足したという声が多かった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	各地区の広報紙作成に活かせる内容であり、住民に学習成果の還元が期待できる
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	対象者が特定されており、個別通知により周知ができた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

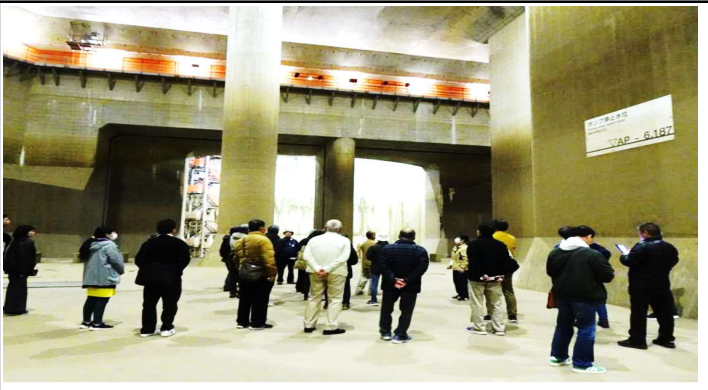
◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点 42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	今年は各町自治会長および生涯学習奨励員の改選があり、本研修が大きな交流の場となった。学習内容の発案、自治会長との調整、資料作成も生涯学習奨励員会長が率先して行い、他奨励員とも事前準備を協力し合いながら行っていた。また、参加者からは満足度が高いと感じる発言が多く聞かれ、内容、行程ともに実施の意義が感じられた。そのため、今後、町広報紙作成等含めた住民への学習成果の地域還元が大いに期待できる。	
改善点	今回の研修に関しては企画調整、周知、実施の期間が非常に短く、かなり忙しい印象であった。今後も野外研修を実施することを踏まえると、より計画的にする段取りをする必要があると考える。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	生涯学習奨励員としての資質の向上を図り、生涯学習奨励員同士や自治会長との交流・情報共有する場を設けるために必要と考える。	

留意事項等	
-------	--

	
首都圏外郭放水路 外観	首都圏外郭放水路 内観（研修の様子）

様式 1

【事業一覧】

No	13	大胡公民館	事業名	生涯学習奨励員活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	生涯学習奨励員研修	講義	2月25日(水)	大胡地区生涯学習奨励員・自治会長合同研修会(※) 「赤城南麓スローシティ」	実10720472 報10731107	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	13	大胡公民館			経費	—		
事業名	生涯学習奨励員活動支援				講座区分	生涯学習奨励員研修		
講座名	大胡地区生涯学習奨励員・自治会長合同研修会「赤城南麓スローシティ」							
ねらい	① 各町における生涯学習の推進を図るため、生涯学習奨励員と自治会長の合同研修を開催することで、奨励員活動の更なる充実と今後の地域づくりに寄与する ② 自治会の主導的立場にいる自治会長と奨励員が合同で研修することにより、相互の連携を強めるとともに、知識と教養を深め、今後の生涯学習推進活動の一助とする							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☒ その他（通知文）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	2月25日（水）		「赤城南麓スローシティ」 赤城南麓スローシティについてみなさんと一緒に考える機会とする			—	—	
	13:30	15:40				前橋市広報ブランド戦略課 職員		
	22	17						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	大胡地区がスローシティに認定されていることを地元の人に知ってもらいたい
地域のニーズにこたえているか	○	スローシティに認定された大胡地区について学習できた
企画・事前準備は十分であったか	○	会長が出前講座を依頼し、その後講師と密に連絡を取り合った。
学習者の満足度はどうであったか	○	スローシティについての認知度は高まったが、内容がわかりづらいという意見もあった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	スローシティに認定されていることを地域に広めたいという意識が高まった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	通知文によって周知した

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	スローシティには前橋・赤城地域の加盟が認定されており、そのなかには大胡地区も含まれているが、認定されていることを地元の人でも知らないという参加者が多かった。スローシティの「新しい価値を生み出すものではなく、この地域が長い時間をかけて育ててきた自然や食、歴史文化、人々の営みそのものを大切にしていく」という考え方には賛同する参加者が多く、後世に引き継いでいくべきだと感じた。また、大胡地区の魅力として、「食べもの」「場所」「人や文化」を振り返り、改めて大胡地区について考えるきっかけになった。	
改善点	開催時期を早めたらどうかという意見が自治会長よりあった。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	生涯学習奨励員と自治会長が一斉に集まり、意見交換する貴重な機会である。	

留意事項等	
-------	--

	
講座の様子	講座の様子

様式 1

【事業一覧】

No	14	宮城公民館	事業名	生涯学習奨励員活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	生涯学習奨励員研修	講義・実習	7月26日(土) 8月23日(土)	生涯学習奨励員研修会 (※)	実10506967 報10600896	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	14	宮城公民館			経費	—		
事業名	生涯学習奨励員活動支援				講座区分	生涯学習奨励員研修		
講座名	生涯学習奨励員研修会							
ねらい	① 生涯学習奨励員としての資質の向上を図る ② 各町情報交換や交流を深め、自治会との連携を図る							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ H P	☐ チラシ	☒ その他 （開催通知）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	7月26日(土)		生涯学習活動がつくる地域の輪			—	—	
	13:30	14:30				生涯学習課職員		
	35	18						
2	8月23日(土)		情報交換会（各町事業、奨励員活動について） わがまち紹介（活動等紹介パネルの制作）			—	—	
	10:00	11:50				—		
	7	6						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	事前の地区奨励員会議で講座内容を検討している
地域のニーズにこたえているか	○	事前の地区奨励員会議で講座内容を決定した
企画・事前準備は十分であったか	○	講座内容や進行等役員と打ち合わせを行った
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケートでは、よかったとの声が多かった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	自治会役員や生涯学習奨励員対象のため、得た知識や情報を地域に還元・波及できたと考える
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	開催通知で周知をしている

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点 40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	研修1の生涯学習奨励員・自治会合同研修会では、生涯学習奨励員活動の説明で具体的な活動例をたくさん紹介していただき、理解しやすかった。アンケートでも「地域の中で役立てたい」との感想が多く、新任役員の方が多く、生涯学習や生涯学習奨励員について知り、今後の活動に活かせる内容であったと考える。 研修2のパネル制作・情報交換では、お互いの町の活動や文化財について知り、交流を深め、活動意欲の向上に繋がる機会になったのではないかと思います。	
改善点	平日は都合がつかない方が多いため、土曜日の開催としている。より多くの方に参加していただけるよう、開催日時や内容の検討をしていきたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	生涯学習奨励員としての資質の向上を図り、生涯学習奨励員同士や地域の役員の方々との交流、情報交換をする機会を設けるために必要と考える。	

留意事項等	
-------	--

	
合同研修会の様子	合同研修会の様子

様式 1

【事業一覧】

No	15	粕川公民館	事業名	生涯学習奨励員活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	生涯学習奨励員研修	講義	4月23日(水)	生涯学習奨励員・自治会長合同研修 (※)	実10460799 報10490155	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	15	粕川公民館			経費	—	
事業名	生涯学習奨励員活動支援				講座区分	生涯学習奨励員研修	
講座名	粕川地区生涯学習奨励員・自治会長合同研修会						
ねらい	① 地域での生涯学習活動を推進するにあたり、幅広く地域に貢献できるように生涯学習奨励員の研修を行う ② 生涯学習奨励員が地域で生涯学習を推進するにあたり、自治会との連携をよりスムーズなものとするため、自治会長との合同研修を開催する						
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☒ その他 (対象者に対して案内通知を郵送)			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	4月23日(水)		[出前講座] 主題「生涯学習活動がつくる地域の輪」 ・生涯学習奨励員の役割について学ぶ ・奨励員並びに自治会との連携の必要性について			—	—
	19:00	20:00				生涯学習課 新保副参事 太田主事	
	22	16					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	任期更新に伴う奨励員と自治会長との合同研修会、奨励員の役割、自治会との連携の重要性を認識してもらうことができた
地域のニーズにこたえているか	○	生涯学習活動が果たす役割について、奨励員及び自治会長が生涯学習活動を行う上での一助となった
企画・事前準備は十分であったか	○	任期更新時に新奨励員、新自治会長に対して研修を開催することができたこと。
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケート集計結果 75%の満足度だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	奨励員の役割など、研修を通じて得た学習成果を、各地元へ持ち帰ることで、地域の還元することができるため
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	事前に奨励員、自治会長の定例会により周知した

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 42

事業の総合評価		※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	柏川地区では、自治会と奨励員との連携不足が否めなく長年の課題でもあります。主な要因として自治会長の任期が1年と短いことで、奨励員制度が未だに浸透していないなどの要因が考えられるため、例年この時期（4月、5月）に「自治会長、奨励員の合同研修会」を開催し、奨励員制度の理解や自治会との連携の重要性などを学んで頂いています。年1回だけでの研修では、多くの理解を得るのは難しいとは思いますが、継続して研修を行うことは重要と考えています。	
改善点	改善点ではないが、どうしたら課題解決に向けて進めることができるかについて、近年では、生涯学習奨励員を兼務する自治会長が推薦されてきていることから、どうしたら奨励員と自治会が連携していけるのか、定例会などでこの課題を提起し議論していきたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	この研修は、年1回の研修のみであるが、研修を通じて学んでいただくこと、理解していただくことは大変大切と感じます。奨励員が地域で生涯学習活動を行う上で、大事なことは、自治会との連携が最重要であると思われることから、このように合同研修会（自治会、奨励員）を我慢強く開いて行く必要があります。	

留意事項等	
-------	--

	
講師からの説明を受ける	講師から説明を受ける

様式 1

【事業一覧】

No	16	富士見公民館	事業名	生涯学習奨励員活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	生涯学習奨励員研修	研修	7月19日(土)	生涯学習奨励員についての研修会 (※)	—	
2	生涯学習奨励員研修	講演会	2月12日(木)	講話学習「戦後80周年記念 戦時下の富士見の人々の暮らし」	—	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	16	富士見公民館	経費	—						
事業名	生涯学習奨励員活動支援			講座区分	生涯学習奨励員					
講座名	生涯学習奨励員についての研修会									
ねらい	① 今回、初めて生涯学習奨励員になった人に、研修を通じて生涯学習奨励員とは何かを知ってもらう ② 富士見地区の活動を紹介する									
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者			
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☒ その他 (奨励員に通知を郵送)						
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金	実費負担金			
	開始	終了				講師名				
	定員	参加者								
1	7月19日(土)		「地域づくりに活かす生涯学習」を主題に、スライドで写しながら研修を行った。生涯学習についてと、富士見地区の生涯学習の取り組みを紹介した。			—	—			
	13:30	14:40				富士見地区生涯学習奨励員 顧問 高山 敏行				
		14								

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	△	今までの活動を知り今後の生涯学習活動に役立てる
地域のニーズにこたえているか	△	今までの活動を知り今後の生涯学習活動に役立てる
企画・事前準備は十分であったか	○	内部講師の資料が好評だった
学習者の満足度はどうであったか	○	参加者より良かったとの意見が多かった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	これからの活動の参考になった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	役員会議で決まって通知を郵送した

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点

33

事業の総合評価	C	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、 30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	生涯学習奨励員の初任者が多く、今回生涯学習について初歩的な見識を得られた。	
改善点	特になし	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、 「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	参加者が少なかったので、また発展的な学習にもつなげたい。	

その留意 事項等	
-------------	--

	写真②
講座の様子	